

HIV-1／2 抗体				2420100	
HIV1／2				担当部署	
				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		陰性:C.O.I.が 1.0 未満を示す検体は陰性と判定します。 陽性:C.O.I.が 1.0 以上を示す検体は陽性と判定します。 ルミパルス HIV Ag/Ab 試薬添付文書				
基準値					単位	COI
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	0.9	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		AIDSの原因ウイルスであるHIVの抗原と抗体を同時に測定するもので抗体産生までのウィンドウ期においても検出が可能である。 AIDS (AcquiredImmunodeficiencySyndrome; 後天性免疫不全症候群)は1981年にアメリカで報告された、HIV(ヒト免疫不全症ウイルス)の感染によりおこる感染症であり、1983年にはHIV-1, 1986年にHIV-2が発見された。 HIVの直径は約100nmで外被膜には2種類の糖蛋白質(HIV-1ではgp120、gp41、HIV-2ではgp125、gp36)があり、その内部にはコア蛋白質(HIV-1でp24,HIV-2でp26)が存在する。 本法は、このHIV-1及びHIV-2抗体、さらにHIVp24抗原を同時に検出するものである。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第4版 390				